

会 告 (I)

第7回 品質管理大会

品質管理討論会講演募集要綱

品質管理討論会も会を重ねるにしたがつて盛大となり、昨年の第6回品質管理大会は本会外 21 学協会、団体の共催で行い、100 余の講演があり、活潑な討論が行われました。今年も品質管理界の一大年中行事として、来る 11 月に第7回大会を開催することになりました。

品質管理は技術者や研究者が互に討論しあうことによつて進歩するものであり、他産業の実施例も互に益するところ大であります。したがつてこの機会になるべく多くの方々から、実施成果、研究成果、新提案などを発表されることを希望します。下記により講演を募集いたしますから、ふるつて応募していただきたいと思ひます。

1. 内 容

品質管理並びに統計的方法の応用に関する研究発表、たとえば各種工業における品質管理のやりかた、効果、考えかた、管理プログラム、標準化、検査、品質規格、管理図、実験計画、相関分析、サンプリング、抜取検査、自動制御、管理試験、計測管理、設備管理、熱管理、倉庫管理、安全管理、事務管理、原価管理、市場調査、オペレーションズ・リサーチ、教育普及方法及び用具、組織など

2. 開催月日

昭和 32 年 11 月 18 日 (月) ~ 21 日 (木) 4 日間

備 考: 11 月 22 日 (金) はデミング賞受賞者報告講演会

3. 場 所: 東京大学・工学部

4. 講演時間: 1 件 20 分 (討論 10 分)

5. 申込締切: 8 月 10 日

申込希望者は至急切手で 30 円同封の上、申込用紙および原稿用紙を準備委員会宛御請求下さい。申込は前記規定用紙に参加希望部会名・題目 (400 字詰原稿用紙 1 枚以内の講演要旨添付のこと) ・所要時間・発表者氏名ならびに所属会社、工場名などを記載して、申込むこと。

6. 申込および報告送付先

品質管理大会準備委員会 (東京都中央区京橋 1 の 2 大阪商船ビル、日本科学技術連盟内)

7. 報告予稿締切: 9 月 10 日

講演者は必ず報告予稿を提出のこと。

指定の 400 字詰原稿用紙 10 枚以上 20 枚以内厳守 (20 枚以上のときは返送して再提出をもとめるか、あるいは当方で適宜削除します)

報文は活版印刷とするので特に期日厳守されたし。その他報文記載要領参照

8. 主催団体 (順不同)

日本鉄鋼協会、日本化学会、電気通信学会、日本機械学会、日本薬学会、繊維学会、繊維機械学会、電気学会、日本分析化学会、日本鋳業会、日本鋳業協会、全国炭鋳技術会、高分子学会、日本工業経営学会、日本金属学会、日本規格協会、計測学会、燃料協会、日本数学会、経営科学協会、米国品質管理協会日本支部、デミング賞委員会、日本科学技術連盟

備 考: 今年も別にテーマをきめて、講演を募集する予定です。